



犬山ロータリークラブ

INUYAMA R.C.

Rotary  第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会長：原 正 男
■幹 事：安 田 一 生
■公共イメージ向上副委員長
：関 矢 正 己

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／<http://www.inuyama-rc.org/> e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部
電 話／0568-61.2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2891回 例 会 （ R 4 . 9 . 2 7 火 曇り／雨 ☁️🌧️ ）

【 ガ バ ナ ー 補 佐 訪 問 】

点 鐘 原 正男会長
R . S 手に手つないで 四つのテスト
ビジター ☆R.I.第 2760 地区 東尾張分区
ガバナー補佐 武藤 栄司 様
☆R.I.第 2760 地区
地区副幹事 森田 乾嗣 様
☆R.I.第 2760 地区
地区スタッフ 二村 憲 様
☆R.I.第 2760 地区 東尾張分区
分 区 幹 事 深石 公彦 様



幹事報告 安田 一生幹事

※近隣クラブはコロナ禍により、ほぼメーキャップ受付を
されておられません

☆21-22 ガバナー月信 最終号が届いた為、本配布
今年度ガバナー月信は地区ホームページから閲覧可能

☆第3回クラブアッセンブリーのご案内

日 時：9月27日（火）

本日、ガバナー補佐訪問例会後、1時間程度
対 象：役員・理事・委員長、入会3年未満会員

出席報告（鈴木敏之委員長）

出席率 100% 会員 50 名（*出席率は紙面での報告のみ）

ニコボックス（鈴木敏之委員長）

ガバナー補佐 武藤栄司様、分区幹事 深石公彦様より
地区副幹事 森田乾嗣様、地区スタッフ 二村憲様より
ニコをいただきました

原 正男君 ガバナー補佐 武藤栄司様、地区副幹事
森田乾嗣様、地区スタッフ 二村憲様、
分区幹事 深石公彦様のご来訪を喜んで！
本日は宜しくお願い致します。

（同文にて）山田直廣君 安田一生君 鈴木一成君
朱宮新治君 何かとお世話になっております武藤ガバ
ナー補佐さん、本日は大変ご苦勞様です
在籍 26 年を喜んで！

吉田 洋君 ガバナー補佐 武藤栄司様、地区副幹事
森田乾嗣様、地区スタッフ 二村憲様、
分区幹事 深石公彦様のご来訪を喜んで！

（同文にて）福富孝弘君 日比野良太郎君 保浦博志君
井川光雄君 稲垣圭次君 板津英基君
伊藤隆君 岩間信夫君 加藤浩一君
兒玉寿君 近藤俊也君 牧野武彦君
真野健二君 松平實胤君 松山基邦君
丹羽敬昇君 小川宏嗣君 小川誠君
小川征一君 大原隆一君 奥村正幸君
大島匡博君 澤田禅君 関矢正己君
千田光範君 鈴木敏之君 高橋秀治君
谷定貴之君 梅田佳和君 山根雄司君
安田新平君 吉田洋君

祝 福（真野健二委員長）

おめでとうございます！！

在 籍 26 年 吉田 洋 君 10 月 1 日

御夫人誕生日

安田一生君夫人 由美子様 10 月 3 日（結婚記念日 3/14）



☆☆ 在 籍 おめでとうございます！☆☆

会 長 挨拶 (原 正男会長)



本日のお客様をご紹介します。

ガバナー補佐	武藤 栄司 様
地区副幹事	森田 乾嗣 様
地区スタッフ	二村 憲 様
分区幹事	深石 公彦 様

武藤栄司様と私は、10 年来の気のおけない友人で、歳は私より 10 歳お若いですが、信頼のおける尊敬できる心優しい人格者です。後ほどご挨拶をよろしくお願い致します。

今年度犬山 RC のテーマは「利他の心」です。

あと 10 日程で 10 月 9 日（日）に福富社会奉仕委員長を中心に動いていただいています「子ども食堂ネットワーク作り」の事業があります。

なかなか「私は貧しいからご飯を食べさせて下さい」という子どもはいませんが、実際にはそういうご家庭もデータ上はないわけではありません。

日頃からそういう家庭の支援の応援団として活動する各団体の情報を共有することによって階段を 1 段でも 2 段でもステップアップするお手伝いが出来れば嬉しい限りです。

その日は犬山市産業振興祭で、犬山商工会議所、ボタリング関係の方は 2 足、3 足のわらじの方も多いのですが少しの時間でも一緒に汗をかいいただければと思います。

私たちの心には「自分だけよければいい」と考える利己の心と「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」とする利他の心があります。

前者は自分のことしか考えずに自己中心ですから視野も狭くなります。利他の心で判断するとまわりの人が皆協力してくれます。また、正しい判断も出来ます。

箆橋美久ガバナーの活動方針の一つに、地域社会との繋がりを重視し支援活動に力をいれましょう、地域社会に役立つクラブになろう、とあります。

10 月 9 日は、ロータリアンとして貴重な日となります。よろしくお願いします。

これをもちまして会長挨拶とします。

ガバナー補佐訪問

卓 話 R.I.第 2760 地区 東尾張分区

ガバナー補佐 武藤 栄司 様



今期、東尾張分区のガバナー補佐をさせていただきます武藤栄司と申します。

簡単な自己紹介をさせていただきます。岩倉ロータリークラブ所属で地区内最小クラブでもあり、ロータリアン歴は 2012 年 1 月入会の 10 年目と浅く、8 分区のガバナー補佐の中で最年少の 58 歳と三拍子揃いの若輩者でございます。

出身校は愛知高等学校から愛知学院大学 商学部経営学科を昭和 62 年に卒業し、日産のディーラーにて 3 年間の営業職を経て 25 歳で、父が祖父より受け継いだ自転車販売修理業を自動車販売修理業へと昭和 31 年に転業をした、民間車検工場（有）岩栄自動車「代理店名：スズキアリーナ岩倉」に平成 2 年に入社し、平成 24 年に代表取締役役に就任し現在に至っており、自動車業界の仕事に就いてから 36 年になりますが、何歳になっても勉強だと思い、今年の 5 月から 3 ヶ月間、現役組の若者達に交じり講習に通い続け、毎晩 1 時間半勉強し続け、無事に「自動車検査員資格」に合格する事ができました。

仕事以外では「岩倉市消防団員」を今年 3 月の退団まで 31 年間、数多くの火災現場にて消火活動を経験しました。その中で、リフォームをして未だ 2 週間たらずの自宅の母屋が、隣家の火災延焼にあい、その消火活動にまさか自分が携わるとは思いもよりませんでした。消防職員や消防団員の仲間が一生懸命消火活動に励んでくれましたが、残念ながら母屋は全焼となってしまいました。私はその火事現場では、責任感だけでまるで他人事のように冷静に淡々と、消火ホースで消火活動をしていました。当時中学生だった娘の近所の友だちの男の子たちが、いつの間にか自宅の水まき用のホースを持参してきて、庭の水道に繋いで火を消そうとしてくれている姿を見て、私は「危ないから離れなさい！下りなさい！」と叫んでいましたが、とてもありがたく「友達はいいいものだなあ」とつくづく実感させられました。子供たちにとって、見た事のない燃えさかる大きな炎は、とても怖かったはずですが、父が消火器ではとても追い付かず、使用した何本もの消火器を大火の中に投げ込んで、何度も何度もバケツ

の水で火を消そうとしている姿や、燃えてしまった我が家を放心状態で眺めている姿を、私は一生忘れることはないと思います。父だけ足に火傷を負いましたが、他の家族や消火活動に関わった方々に怪我がなかったことが何よりも幸いでした。正直申し上げますと、父が火災のショックでもうあまり長くないかとも思い、夫婦でこっそり喪服を新調しましたが、今ではその喪服がきつくて着られない様になり、父は今でも元気に生存しています。

被災した事を自慢する事ではありませんが、その経験で火災だけではなく、水害や地震などで被災された方の不安な気持ちや心理状態を少し理解ができ、その方々に寄り添える心を、持てる様になった気がします。

平成14年度と15年度に「岩倉市商工会青年部の部長」現在は「岩倉市商工会理事」

市から委嘱を受け「岩倉市スポーツ推進委員（旧：体育指導員）」を25年間、現在は委員長で丹波地区の会長 西尾張地区の副会長 愛知県スポーツ推進委員の理事をしております。地域総合型スポーツクラブとして「岩倉スポーツクラブ倶楽部」を平成20年に、副会長として設立に携わり活動を重ね、現在は会長として運営及び会員にスポーツ指導をしております。

趣味は海外旅行（大学時代にアメリカ・イギリスと海外研修に行っていた以来はまり）今はコロナになり全く行けていませんが、今までに20ヶ国以上は旅してきました。ちなみにオーストラリアはシドニーとブリスベンには行った事がありますが、メルボルンには行った事ありません、可能であればセントパトリック大聖堂を訪れてみたいと思います。

中学・高校と6年間は卓球部に所属し、どちらも比較的責任のない副キャプテン。同地区には中京・名電・東邦高校が存在する為、大会試合はいつも2回か3回戦負けで、午後からは名古屋栄で遊ぶ、私にとっては都合のいい運動部でした。

そしてキャリアだけは40年の下手なゴルフ（犬山CC・東建多度CC・オールドレイクGC・伊勢大鷲GC）のメンバー会員であります。練習をしない事もありません。スコアは年々悪くなるばかりです。

大学時代の冬季12月～3月だけの4年間は山に籠り、志賀高原の横手山スキー場にてアルバイトでコパンプラン・プロスキースクールのインストラクターとしてスキーの指導をしていました。スクール生の常連客から成り上がり、高校3年の春休みからアルバイトを始め当時はこの道で食べていこうと考えていました。

少林寺拳法は式段で、岩倉道院に15歳から12年間通い、日曜日が割かれることもあって、三段は取得せず、道院生に指導をしていました。一時は道院長に道場を継がされそうになりましたが、現在は頼もしい後輩が引き継いでくれて安心してあります。その他スポーツの審判資格などを少し取得しております。

私は姉が二人の三人兄弟の末っ子の長男で、住まいは高齢の昭和2年まれ95歳の父、昭和9年生まれ88歳の母、二つ年下の妻の4人で、生まれ育った岩倉市で暮らしております。子供は29歳の娘がひとりだけで、2年前に嫁いでおり、現在は瀬戸市の公立陶生病院の

小児科の医師で一児の母でもあります。

岩倉 RC はクラブ会員数が少ない事情もあり、2015-2016 加藤陽一ガバナー年度と 2020-2021 岡部努ガバナー年度と、2回のクラブ会長を務めさせていただきました。私は人が困っていると、どうしてもほっとけない性分で、何においても断ることが特に苦手です。縁あって色々な役職に就かせてもらい、年齢の割には多くの経験をさせていただき、関わりのあったみなさんや、あきれ果てていた妻・両親・社員には本当に感謝しております。これらの経験が将来に向けて何か人や地域のお役に立てればと、日々考えているうちに、何故か役だけが増えていってしまいました。クラブ会員の皆様の中にも、同じ様な方は多いかと思ひます。むしろそんな方々ばかりかもしれません。そんな方々に囲まれて過ごせるクラブ活動が、私の何ものにも代え難い財産であります。

ここからはガバナー補佐の役割としてのお話をさせていただきます。「クラブと地区を結びつけること」が一番の目的・使命だと考えております。

さらには会員の声を聞き、情報やアドバイスをすること「力不足ではありますが」スタッフのみなさんの協力を得て、クラブを成功へと導ける、又はきっかけとなるお手伝いができれば幸いです。

そしてガバナー補佐としてお伝えすべきことは、
●女性初の国際ロータリー会長でジェニファー・ジョーンズ

RI テーマである「イマジン ロータリー」について
●今年度、笹橋美久ガバナー

地区スローガンについて「未来を描こう、笑顔でつながろう」～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

最後に地区活動方針・強調事項についてご説明をさせていただきます。

「イマジン ロータリー」

これが、ジェニファー・ジョーンズ会長が、2022年1月に発表した2022-23年度会長テーマです。ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすことをロータリー会員に求めています。

「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」



このロゴは、オーストラリアの先住民族でグラフィックデザイナーのリキ・サラム氏によってデザインさ

れました。サラム氏は、メルボルンで開催される 2023 年ロータリー国際大会のロゴも手がけており、視覚的によくわかるよう目に見える形で表現しています。このデザインには、各所に深い意味が込められています。例えば、先住民アボリジニの文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、その周りにある 7 つの点は「人」をあらわすと同時にロータリーの七つの重点分野を表しています。

ここでもう一度ロータリーの七つの重点分野についておさらいしてみたいと思います。ロータリーの重点分野とは、世界で必要とされるロータリーの 7 つの人道的問題を重点的に取り上げるものです。2021 年度からは従来の 6 つの重点分野に加えて「環境」が加わりました。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり「私たちの進むべき道の道しるべ」を表しています。その下の太い緑の線は、なんでしょう。これはいわゆる「掘り出し棒」すなわち必要なものを掘り出す道具を表していて、力仕事をするときに使うものということです。行動を起こす仲間であるロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

次に、色（緑、紫、白）について申し上げます。ジェニファー・ジョーンズ会長は、公式行事で服装を整える際、テーマジャケットではなく、これらの色（一つでも、三つすべてでも可能）を使うよう 2022-23 年度ガバナーに要請しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを強調していくにあたり、私たち一人ひとりが着るもので自分を表現しながら、つながりを持てるようにしたかった」とジョーンズ氏は説明しています。実は、色の解釈については何通りかあります。その中の一つを例にとりますと、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」、紫は「ポリオ根絶」を表しているとしています。

次にイマジンについてです。ジェニファー・ジョーンズ会長は「想像してみてください」とおっしゃっています。「ポリオのない世界を想像してみてください」「みんなが安全な水を使える世界を想像してみてください」「疾病のない世界、すべての子どもが読める世界を想像してみてください」、やさしさ、希望、愛、平和を想像してみてください、だからこそ「イマジン ロータリー」がテーマなのだとジェニファー・ジョーンズ会長は呼び掛けています。

次に、ジェニファー・ジョーンズ会長は今年度「DEI」の積極的な推進を強調しています。これは地区研修・協議会や PETS でも説明されたことですので重複することも多くあると思いますが、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織になるよう努力する事が必要であるということです。ダイバーシティ・多様性とは、年齢・性別・民族・宗教・疾病・障害・国籍・教育等の違いを尊重し、あらゆる背景を待った人を歓迎するということです。

エクイティ (Equity)・公平さとはロータリーで言う

公平性とは、情報・機会・リソースへのアクセスについて、すべての人に公平な扱いを保証しようとするものです。関連して、ロータリーで使われるフェロシップについてです。フェロシップとフレンドシップは違います。ただ仲良くするフレンドシップと違い、フェロシップは同じ志をもって共に行動するということです。ロータリーで言う「親睦」はフレンドシップではなく、フェロシップなのです。

次にインクルージョン (Inclusion) についてです。これは、直訳すると包括・包含という意味です。包括は全体をまとめること、包含は大きなまとまりの中に含ませるという意味です。どのような個人・集団であっても、歓迎され、尊重され、支援され、参加できるようなインクルーシブな環境を作るということです。多様な個性を受け入れるだけでなく、個性を尊重して、すべての人が活躍できる環境を整備するのが、インクルージョンの考え方であり、ダイバーシティを実現するための概念だと思っています。立場や考え方の違いを超えて、すべての人が平等に活躍できる社会の確立が求められている現在、ビジネスシーンでもインクルージョンの概念は今後さらに注目が集まるでしょう。つまりロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織になるよう努力することが必要であると思います。RI 会長は、すべての会員がロータリーとの強いつながりを実感できるようにするためには「会員がクラブに対して心地よさを感じることを、そして、会員への配慮」が必要であるとおっしゃっています。これは冒頭に申し上げました今期のロータリーのテーマにも共通する考えだと思っています。

もう一度テーマに戻りますと、ジェニファー・ジョーンズ会長は

「想像してみてください」とおっしゃっています。

「ポリオのない世界を想像してください」

「みんなが安全な水を使える世界を想像してください」

「疾病のない世界、すべての子どもが読める世界を想像してください」

「やさしさ、希望、愛、平和を想像してください」

だからこそ「イマジン ロータリー」がテーマなのですと呼び掛け、このメッセージが重要な意味を持つことを願っています。

箆橋ガバナーの地区方針であるスローガン

「未来を描こう、笑顔でつなごう」

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

1. 計画的なクラブ運営・活動を行いましょう

- ・クラブセントラルに登録し、定期的な検証を行い、年間目標の達成を実現しましょう
- ・年間活動計画を明確にクラブ会員に周知し、奉仕事業を成功させましょう
- ・クラブとして数値目標を立て、クラブ会員に周知して活動しましょう。

2. 会員の増強をしよう

- ・会員 5,000 名の目標を達成しましょう
仲間が多くなることは、明るく・楽しい活動的なクラブとなります。
- ・女性会員の在籍率 8% を目標とし増強しましょう。
現在世界での女性会員は 25%、日本の女性会員は 7.2% (2760 地区は 6%) であり、ジェンダー格差を改善して参ります。
- ・若い年齢層の入会を促進させましょう。
皆さんと一緒に笑顔を増やすべく、会員増強に向けて頑張って参りましょう。

3. ゴミ投棄防止運動

- ・自分の街からごみをなくそう
- ・河川の美化を図ろう
- ・海岸の美化を図ろう
- ・生態系を守ろう
特にごみ放棄、海洋マイクロプラスチックの投棄に関するストップ運動を行いましょう。
環境問題の解決に向けて、私たち一人一人にできることから、取り組みを始めていきましょう。
環境問題は、将来を担う子供たちのかけがえのない未来を奪うものであると理解しておかなければなりません。

4. ポリオ根絶への貢献

- ・ポリオ根絶募金活動をロータリー財団中心に実施し、地域社会へのアピールを行いましょう。
今年の 7 月 21 日に米ニューヨーク州・ロックランドの住民がポリオを発症しました。他人に感染させる恐れはすでに無くなっているようですが、8 月 13 日にはポリオウィルスがニューヨーク市内の下水システムからも検出されております。ポリオウィルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。治療法はありませんが、安全なワクチンでの予防が可能です。
「世界からポリオを根絶する、そしてポリオのない世界の実現」という最終目標を達成するために、全ての国や地域で予防接種を続けなければなりませんポリオ根絶へのご理解と一層の御支援をお願い致します。
各地で計画されたイベント (例えばワールドフード+ふれ愛フェスタ (WFF) にて、地域社会への広報に努め、公共イメージ向上に協力しましょう。

5. 公共イメージ向上

- ・奉仕活動を地域社会にアピールしましょう
- ・MY ROTARY の登録の促進を図りましょう
登録率 50% を目指す My ROTARY ではロータリー会員向けの情報やツールをご利用いただけます。
- ・ホームページの活用を促進しましょう
- ・地区内各委員会との連携を図りましょう

6. 地区大会 みんなで成功させよう！

開催日：11 月 12 日 (土)

13 日 (日)

名古屋観光ホテル (第 1 日目)

愛知県国際展示場 (第 2 日目)

7. 第 10 回ワールド・フード+ふれ愛フェスタ (WFF) 開催

WFF の 3 つの目的

- (1) 収益金による人道的奉仕活動 (ファンドレイジング)
- (2) ロータリーの公共イメージ向上
- (3) ポリオ根絶に参加

開催日：2023 年 4 月 15・16 日

場 所：エディオン久屋広場

8. 国際大会 (メルボルン) へ参加しよう

・2023 年 5 月 27 日 (土) ~ 31 日 (水)

ガバナーナイトを開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

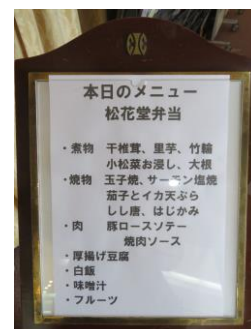
お願い事ばかりで大変恐縮です、立場上どうしてもお願いせざるを得ないことばかりです。勘違い甚だしいとおっしゃられる方もおみえになると思いますが、嫌われることを覚悟でお願いをさせていただきました。どうぞよろしくお願いします。

箆橋ガバナーは、「活動方針の本質は笑顔にある」とおっしゃられています。私たち自身が笑顔を忘れず、一人でも多くの人たちを笑顔にしていけることが大切です。ロータリーがこれまで蓄積してきた過去の実績を踏まえ、さらに多くの笑顔に溢れた未来を実現していきましょう。そのためには今の時代に即した改革が必要です。過去に学び、未来を想像しながら、近隣クラブやロータリアン同士が知恵を出し合いながら丸となって活動を進めていきましょう。会員のみなさん積極的な参加をお願いいたします。

以上のメッセージをお伝えして私の卓話の結びとさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。



=本日のお食事=





第3回クラブアッセンブリー

例会終了後、第3回クラブアッセンブリーが開催され、役員・理事・各委員長、入会3年未満会員が出席いたしました。各委員会事業活動の報告、ガバナー補佐講評が行われました。



ご報告

○第1回クラブ国際奉仕委員長会議

去る9月21日（水）名鉄グランドホテルにおいて第1回クラブ国際奉仕委員長会議が開催され、安田幹事、児玉R財団・国際奉仕委員長が出席いたしました。



○クラブ米山奨学委員長会議

去る9月22日（木）ホテルメルパルク名古屋において、クラブ米山奨学委員長会議、第25回米山学友会（愛知）総会、懇親会が行われ、原会長、安田幹事、梅田米山記念奨学会・青少年奉仕委員長が出席いたしました。

第25回米山学友会（愛知）総会からは米山奨学生 黄 夢婷さんも出席されました。



○秋の交通安全県民運動

去る9月26日（月）午前9時30分より秋の全国交通安全県民運動の一環として「シートベルト・チャイルドシート全席着用関所」街頭啓発活動が、イオン扶桑店仲畑交差点側で開催。コロナ禍対策で各団体3名程度の要請があり、原会長、安田幹事、福富奉仕プロジェクト・社会奉仕委員長で参加いたしました。



<< ロータリー記事 2022年9月26日
写真・概要のみ抜粋 >>

◇ジェニファー・ジョーンズ RI 会長がポリオ根絶に向けた1億5,000万ドルの誓約を発表



9月24日、ニューヨークで開催された2022年グローバルシチズン・フェスティバルで、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長が、ポリオ根絶活動への1億5,000万ドルの寄付誓約を発表しました。
写真提供：David Alexander